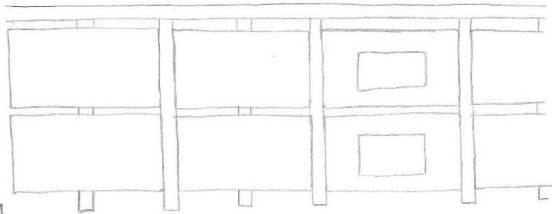


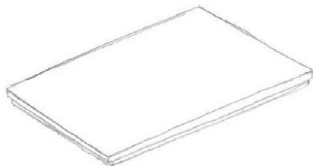
図面や絵などを用いて、平時・災害時にそれぞれ想定される用途や設置場所、トランスフォームの手順、トランスフォームにあたって必要な工具がある場合はその格納場所についてご説明ください。

応募作品名	木造応急仮設ハウス	氏名	木青 太郎	応募チーム名	
-------	-----------	----	-------	--------	--

いつも



ウッドフェンス

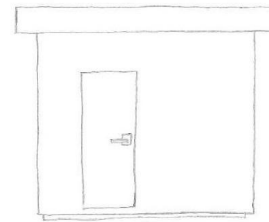


ウッドデッキ

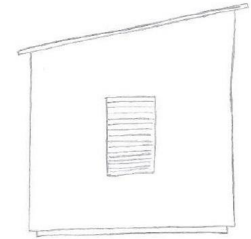
設置場所: 屋外の公園や広場など
 用途: ウッドデッキ、ウッドフェンスとして心地良い木質空間を提供します。
 その他: 変形に必要な工具や金物は、すべてデッキ下に格納されています。



もしも



正面

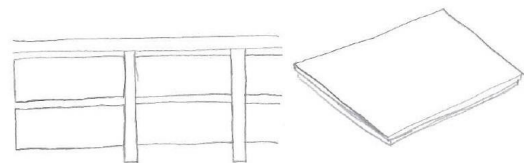


側面

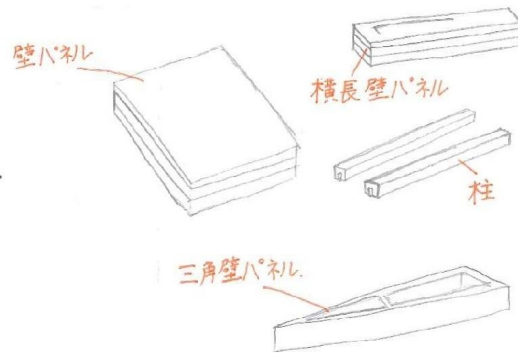
設置場所: 避難所 (屋内もしくは屋外)
 用途: 不特定多数の人が避難所生活の中で、着替えなどプライバシーを保つための場として利用したり、支援物資の保管、急病者の緊急措置、要介護者や感染症等の恐れのある方のための避難場所として利用できます。
 特長: 全ての壁パネルの寸法を統一しているため、人口ドア、通気ガラの配置勾配の向きを現地の条件に合わせて自由に組み替えることができます。

変形方法 「壁から小屋へ」 解体からの組み立て手順 ② 前準備・組み立て

① フェンス解体

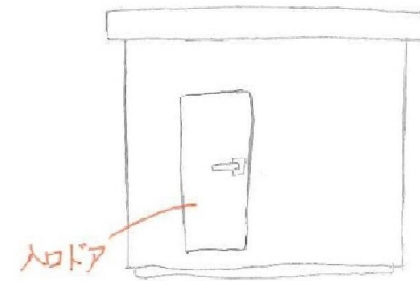


普段、フェンスの各パーツはホルトで固定しており、ラチェットでホルトを緩め外すことで、解体することができます。



外したパーツは、柱など各部材で分けておく。
 まず柱4本をデッキの角に取り付け、パネルを順に取り付ける。

③ 完成



パネルのズレを微調整し、完成。

☆ 変形作業の注意事項

- ・ デッキが水平に保たれているか、ガタつきがないか確認してください。
- ・ 作業の際は、収納されている手袋とヘルメットを使用してください。
- ・ 風の強い日は危険ですので、変形作業は避けてください。
- ・ 組み立て後はルーフィング等で防水工事をするをお勧めします。